

共立女子大学  
共立女子短期大学  
全学共通教育情報リテラシー科目プログラム  
自己点検・評価報告書

2021 年度

2021 年度より、共立女子大学・共立女子短期大学「全学共通教育情報リテラシー科目プログラム」を実施した。これからの社会では、数理・データサイエンス・AI に関する基礎的な知識・技能が文理問わず全ての学生に不可欠な能力であり、特に「実学」教育を重視する本学にとって不可欠な基礎教育である。2021 年度の実施内容を自己点検・評価し、2022 年度より「データサイエンスと ICT の基礎」を全学必修として新設する。

2021 年度の共立女子大学・共立女子短期大学「全学共通教育情報リテラシー科目プログラム」の自己点検・評価は次のとおりである。

点検・評価項目	点検・評価結果
全学共通教育情報リテラシー科目プログラムの履修・修得状況	<p>受講者毎の出席状況や課題の提出状況は LMS で把握するとともに、毎回の授業で到達度や満足度を測定するアンケートを実施して学生の学修状況を把握している。</p> <p>2021 年度のリテラシーレベルについては 1 クラス開講で希望者のみの選択科目で実施した。履修者は大学が 29 名、短期大学が 3 名、単位修得者（修了者）は大学が 21 名、短期大学が 1 名であり、単位修得率は大学が 72%、短期大学が 33%であった。単位を修得できなかった学生が一定数いるのは、既に全学共通の教養教育科目の卒業要件単位数を満たしている上級学年の履修が多かった（大学：1 年生 6 名、2 年生 13 名、3 年生 6 名、4 年生 4 名、短期大学：2 年生 3 名）ことが影響している。なお、1 年生については 6 名のうち、5 名が単位修得している。</p> <p>2022 年度からは、2021 年度の実績を踏まえて授業内容や方法等を総合的に点検・評価、改善を行いつつ「データサイエンスと ICT の基礎」を必修としている。</p>
学修成果	<p>形成的評価を適切に実施するために授業では各回で到達度を測定するアンケートを実施している。形成的評価を踏まえて、授業内容について補足説明やフィードバックを行うこととしている。</p> <p>授業終了後に実施したアンケートで「この授業を受けて、シラバスに掲げられている知識や能力を、どこまで獲得できたと感じていますか。」という設問では、100%の学生が「単位修得目標」以上、そのうち 57%の学生が「到達目標」以上と回答しており、授業の目標に対して学生の理解度が高いことが確認できた。</p> <p>また、「授業で学んだ内容は、今後の学生生活や社会生活で役に立ちそうですか。」という設問に対する自由記述からは「データサイエンスは私たちの社会で情報を見分けるために必要になってくるし、AI の時代になってくるといわれている今、AI のことを知る</p>

	<p>ことが出来たから。また、これから多く活用されるであろう IoT について理解することが出来たから。」と回答があるなど、今後の生活での有用性を学生が理解できている様子が確認できた。</p>
<p>学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度</p>	<p>各回でのアンケートの他、授業終了後に総括的なアンケートを実施した。</p> <p>「この授業を受けて、シラバスに掲げられている知識や能力を、どこまで獲得できたと感じていますか。」という設問では、100%の学生が「単位修得目標」以上、そのうち 57%の学生が「到達目標」以上と回答しており、授業の目標に対して学生の理解度が高いことが確認できた。</p> <p>「総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。」という設問では、「大いに有意義であった」が 35.71%、「有意義であった」が 28.57%、「やや有意義であった」が 28.57%、「あまり有意義でなかった」が 7.14%、「全く有意義でなかった」が 0%、と学生はこの授業に意義を感じながら取り組んだことが確認できた。</p> <p>「授業で学んだ内容は、今後の学生生活や社会生活で役に立ちそうですか。」という設問では、「役に立つと思う」が 100%となっている。</p>
<p>学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度</p>	<p>2022 年度からは「データサイエンスと ICT の基礎」は必修科目となっている。</p> <p>2021 年度のアンケート結果では以下の自由記述が示されており、後輩等他の学生への推奨度が高いことが確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンスは私たちの社会で情報を見分けるために必要になってくるし、AI の時代になってくるといわれている今、AI のことを知ることが出来たから。また、これから多く活用されるであろう IoT について理解することが出来たから。</li> <li>・これまで注目したことのない分野に触れて、新たな視点を得ることができたからです。</li> <li>・情報化社会が進む世の中で、今必要な知識を得ることができたから。またその知識は自分の学部では学ぶことができないものであったので、とても自分の視野を広げることができた。</li> </ul>
<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>「データサイエンスと ICT の基礎」に関しては、2022 年度から全学必修化しており、過年度までの成果を踏まえつつ、履修者数、履修率、単位取得率の向上に向けて推進している。</p> <p>2022 年度に、デジタルバッジを活用した本学独自の認定制度と</p>

	<p>なるサーティフィケート制度を設け、「データサイエンスと ICT の基礎」以外の科目も履修者数、履修率の向上を目指す。</p>
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業との評価</p>	<p>修了した学生で卒業した学年はまだ少数ではあるが、2021年度に大学4年生で修了した学生2名は、家政学部食物栄養学科食物学専攻を卒業しており、専門教育に関連した食品企業に就職している。また、2021年度に短期大学2年生で修了した学生1名は、人材サービス企業に就職している。</p> <p>2022年度からは「データサイエンスと ICT の基礎」を全学必修化しており、数理・データサイエンス・AIに関するリテラシーレベルをすべての学生が身に付ける。</p> <p>また、発展レベルとしては統計に関するより内容や企業・産業界等と連携して実データを活用したPBL (Project based learning) を行う発展科目を設定するなど、当該分野に関して知識・技能を更に深めたり、知識と実践を往還することでより身に付けたことを定着・活用することができるようになる教育プログラムとなり、社会に出た際に学生が活用できるようになるための学修者本位の教育を目指している。</p> <p>今後、本プログラムを履修した学生の進路・採用状況等を把握し、点検・評価に活用する。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>経済界・企業からのデジタル人材に対するニーズの高まりを受けて、本学が実施している数理・データサイエンス・AI教育の点検・評価を一般社団法人東京経営者協会より受けた。</p> <p>社会からのニーズも踏まえた「データサイエンスと ICT の基礎」では、数理・データサイエンス・AI教育のリテラシーレベルを学ぶことができる内容となっており、2022年度より全学必修としたこと、数理・データサイエンス・AIを苦手とすることなく、生涯付き合い、共に社会で生きていくための素養を養成していく狙いがあることについて、経済界・企業のニーズに即した良い取り組みであるとの評価をいただいている。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>モデルカリキュラムの「導入」部分に準じた内容を展開するとともに、事例紹介では、各学部・科の専門科目に関連する分野を中心にして身近で活用されているデータサイエンス事例を紹介することで「学ぶ楽しさ」を理解させている。</p> <p>また、これからの社会で受ける恩恵、社会で出た際に求められる役割、どのように社会が豊かになるのか、等について紹介することで「学ぶことの意義」を理解させている。</p>

<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>授業評価アンケートを学期末に実施し、学生の評価結果を踏まえた点検・評価および授業改善を恒常的に行っている。</p> <p>また、各回の授業においてもアンケートを実施し、形成的評価を通じて学生の理解度を把握し、適宜補足説明するなどして理解の底上げを図っている。</p> <p>同分野が特に苦手な学生に対しては無料のリメディアル教育を案内し、受講を推奨している。</p> <p>さらに、全学教育推進機構の下に設置されている高等教育開発センターでは、対面での学修サポートも行っている。</p> <p>これからも、授業評価アンケートの結果、各回のアンケートの結果、リメディアル教育の受講状況等を総合的に鑑みて、より「分かりやすい」授業を構築することを目指す。</p>
-----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

リーダーシップの共立

共立女子大学・共立女子短期大学



共立女子大学・共立女子短期大学  
KYORITSU WOMEN'S UNIVERSITY / KYORITSU WOMEN'S JUNIOR COLLEGE